

2024年6月25日



Switch!
SUSTAINABLE
TRAIN

～脱炭素社会の実現を目指して～

特急「ひのとり」全列車をCO₂排出量実質ゼロで運行します！

近鉄では、政府が2050年までに温室効果ガスの排出を全体として実質ゼロにする、「カーボンニュートラルを目指す宣言」の達成に向けて、7月1日（月）から、特急「ひのとり」全列車（平日40本、土休日44本）の運行に必要な電気を実質的に再生可能エネルギー由来の電気に切り替えます。

これにより、年間で約4,000tのCO₂排出量を削減することができ、特急「ひのとり」全列車のCO₂排出量が実質ゼロで運行することになります。

近鉄では今後もSDGs（持続可能な開発目標）やCSR（企業活動における社会的責任）への取り組みを重視し、再生エネルギーの利用を推進することで脱炭素社会の実現、地球温暖化防止、資源枯渇といった課題に積極的に取り組んでいきます。

詳細は別紙のとおりです。



（特急ひのとり）

1. 導入開始日

2024年7月1日（月）

2. 対象列車

ひのとり全列車（定期列車および臨時列車を含む）

3. 定期列車運行区間

大阪難波～近鉄名古屋間

大阪難波～近鉄奈良間

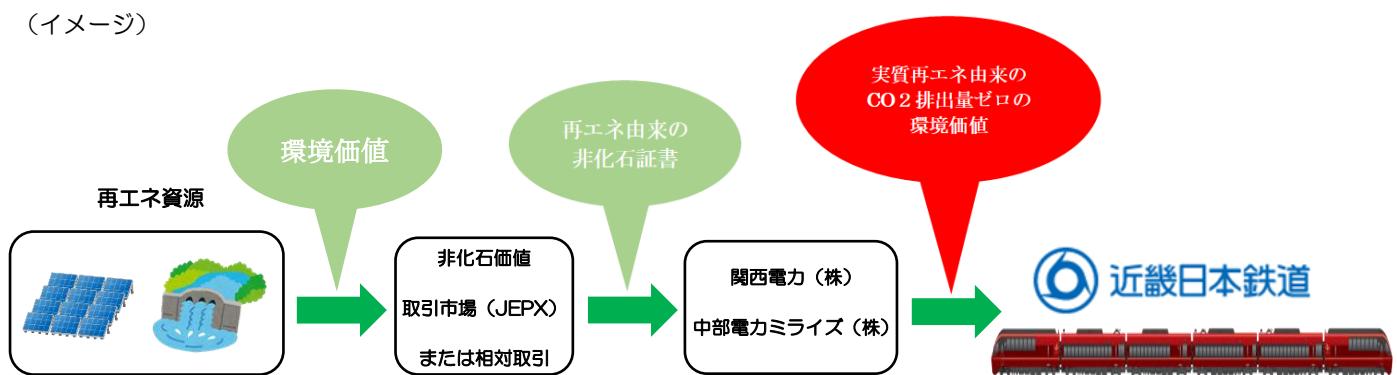
大阪難波～大和西大寺間 平日：40本 土休日：44本

4. 実質的に再生可能エネルギー由来の電気を導入する仕組み

すべての特急「ひのとり」の運行に係る使用電力量相当分に、関西電力株式会社「再エネECOプラン」、および中部電力ミライズ株式会社「Greenでんき」という非化石証書（※）を活用した実質的に再生可能エネルギー由来の電気供給プランを適用することで、実質的にすべての特急「ひのとり」の運行がCO₂排出量ゼロとなる仕組みです。

（※）再生可能エネルギー由来の非化石証書とは、非化石価値取引市場（JEPX）または相対取引で調達するFIT非化石証書や非FIT非化石証書（再エネ指定）などの再エネ電源由來の環境価値を持つ証書をいい、小売事業者が調達した電気に付加して提供することで、実質再エネとしてCO₂排出量の削減が認められているものです。

（イメージ）



5. CO₂ 排出削減量

年間約4,000トン

【SDGsへの貢献】

7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
13. 気候変動に具体的な対策を



近畿日本鉄道グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

（参考）脱炭素社会実現に向けた鉄道の環境優位性の理解促進について

一般社団法人日本民営鉄道協会とJRグループ各社では、日本のカーボンニュートラルの実現に向けて、相対的に低炭素な輸送モードである鉄道のさらなる利活用促進（モーダルシフト）をめざすとともに、鉄道の環境優位性に対する社会的な理解促進に取り組むため、共通ロゴマークとスローガンを定め、鉄道業界一丸でPRに取り組んでいます。

【詳細ページ】<https://www.mintetsu.or.jp/association/news/2023/22402.html>



（共通ロゴマーク）

（以 上）